



学校だより

あいかわ

鈴鹿市立合川小学校

No. 4

令和2年5月29日

新型コロナウイルス感染症対策

5月20日（水）からの4回の登校日を経て、6月1日（月）から学校が再開します。6月2日（火）からは簡易給食という形で給食も始まり、6月8日（月）からは、平常授業・通常給食となります。

5月25日（月）、全ての都道府県の緊急事態宣言は解除されましたが、今後、学校でも「『3つの密』を避ける」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」及び「換気」など基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」を導入し、感染及びその拡大リスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続し、子どもたちの健やかな学びを保障していくことが必要であると考えています。

鈴鹿市では、学校再開後の新型コロナウイルス感染症防止対策として、顔全体を覆い自他を感染から守るため、飛沫を遮るフェイスシールドを市内公立小中学校の全校児童生徒と教職員に配付することになり、先日、学校に届きました。

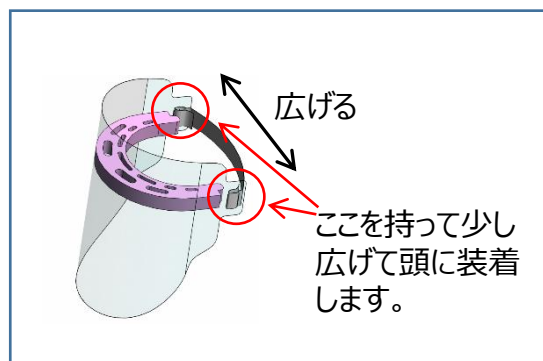
※フェイスシールドは、顔全体を保護するPET樹脂のシールドと、頭部を固定するポリエチレンのクッション、サイズ調整用の織ゴムを組み合わせて作られています。

6月1日（月）から、3つの密の中でも、特に、密集や密接を避けられず、人との距離が近くなる場合など、飛沫による感染から、身を守るため、また、飛沫を飛ばさないために使用します。

子どもたちは、授業中、基本的にはマスクを着用した上で、必要に応じてフェイスシールドを使用します。教職員は、子どもと近距離で対応する時、子どもたちを集めて指導する時、口の動きを見せる必要がある時など、必要に応じて使用します。

具体的には、次のような場合を想定しています。

- ・教科学習での実験や実習時
- ・グループやペアでの対話的な活動時
- ・音楽での合唱時
- ・給食の配膳時
- ・咳症状等がみられる時
- ・介助員等による支援時
- ・保健室での対応時
- ・オアシス等で個別の指導を行う時 など



※子どもの体調等によっては、使用を控える場合もあります。

※シールドの部分には、手で触らないように指導します。

※学校では、名前を書いたシールを貼り、各自、ポリ袋や紙袋に入れて、机の横にかけて保管します。

(持ち手をのぞいて縦30cm×横30cmほどの大きさの袋を持たせてください)

※使用後は、次亜塩素酸水をティッシュペーパー等に含ませ、シールド部分を消毒します。

体育の時間等のマスク着用について

学校では、基本的な感染症対策として、マスクを着用します。しかし、運動を行う際にマスクを着用する場合、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクが指摘されていることから、5月21日(木)、スポーツ庁から「学校の体育の授業におけるマスク着用の必要性について」の文書が出され、体育の授業を実施する場合には、児童生徒間の間隔を十分に確保する、体育の授業の前後に手洗いを指導する等の対策を取れば、マスク着用の必要はないと連絡がありました。

本校でも、体育の授業においては、できる限り子ども同士が密着する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い運動は避け、集合隊形はいつもより間隔を開けて整列するなど感染予防の対策を取り、必要に応じてマスクを外して授業を行っていきます。

本を寄贈していただきました

5月26日(火)、合川公民館運営委員会の野菜作り教室の代表の山鹿清一さんから、子どもたちのためにと本を15冊寄贈していただきました。

昨年の11月2日、3日に合川公民館で行われた生涯学習発表会の際に、野菜作り教室の皆さんが販売した農産物の売り上げを、何か子どもたちのために使いたいと考えていただき、本を寄贈してくださいました。

野菜作り教室の皆さん、ありがとうございました。



マスクを寄贈していただきました

5月28日(木)、合川地区地域づくり協議会と合川地区社会福祉協議会から、子どもたちに、布マスク94枚を寄贈していただきました。このマスクは、民生委員・児童委員さんを中心としたボランティアさんが、子どもたちに人気の漫画「鬼滅の刃」のきめつ柄の布で、L、M、Sの3つのサイズで、一つ一つ手作りしてくださったものです。児童会の代表が、眞弓裕雄さんから校長室で受け取り、お礼を伝えていました。

ボランティアの皆さん、ありがとうございました。

